

2024年度

K 3—2

国 語

2月25日(日)

人文社会科学部 (経済学科)

16:25~17:15

【前期日程】

注 意 事 項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(1枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、3ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

著作権の関係上、公表しません。

次の文章は、ラグラム・ラジャン『第三の支柱 コミュニティ再生の経済学』から一部を抜粋したものである。文章を読んで設問に答えなさい。
(配点四〇%)

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関 係上、公表 しません。

〔出典 ラグラム・ラジャン著、月谷真紀訳『第三の支柱 コミュニティ再生の経済学』、みすず書房、二〇二一年、二二〇～二二四頁。ただし、常用漢字以外を含む単語にはルビを付け、原文の注、小見出しは省いた。また、原文にない(注一)から(注三)を追加した。〕

(注一) ICTとは、Information and Communication Technology(情報通信技術)の略であり、情報処理や通信に関する技術を総合的に指す用語。情報処理だけではなく、インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスの総称をいう。

(注二) アルゴリズムとは、ある特定の問題を解決するための計算方法や処理方法のことである。もともとはコンピュータプログラミングで用いられた言葉で、大量のデータを高速で処理するために、プログラムへ組み込んだ一定の計算手順や処理方法のことを指す。

(注三) ヘンリー・フォードは、アメリカ合衆国の企業家・発明家。自動車会社フォード・モーターの創設者であり、工業製品の製造におけるライン生産方式による大量生産技術開発の後援者である。自動車の大量生産、普及に貢献した人物である。

設問 傍線部「ただし新しく生まれる仕事はこれまでとは違うだろう。」とあるが、なぜ著者はそのように指摘するのか。本文に即して、著者の考えを四〇〇字以上五〇〇字以内で説明しなさい。

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	国語（前期日程試験：令和6年度）	問題番号	K3-2
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部（経済学科）		
出題のねらい	出題文全体をしっかりと理解し、設問を通して散りばめられている解答のヒントになる部分をストーリー立てて文章化し、著者の考えを要約する力を問う問題である。		
採点基準	<p>配点40%</p> <p>① 近年の新技术は、中程度の技能を有する人々にどのような新しい仕事を創出し、中間層にどのような影響を及ぼしたのか、著者の見解を的確かつ概括的に把握できているか。</p> <p>② 定型的な仕事が自動化される一方で非定型的で例外的な仕事に対処できるより高い技能を持つ人々への需要が増加したことについて具体例をまじえながら、本文に即しまとめられているか。</p> <p>③ 新技术による仕事の総量への影響および仕事の質における二極化について著者の見解を正確に理解できているか。</p> <p>④ 上記のポイントを押さえながら、全体的にストーリー立てて解答が組み立てられているか。</p>		